

2050年にゼロカーボンを目指す理由、知っていますか?

世界中で2050年ゼロカーボン

気候変動の影響が深刻さを増す中、2021年の国際会議で採択された「グラスゴー気候合意」では、今世紀半ばのカーボンニュートラル(温室効果ガス排出実質ゼロ)に向けた対策を各国に求めることが盛り込まれました。

現在までに、アメリカ、EUなどを含む125か国が、2050年までにカーボンニュートラルを目標として掲げています。

日本においても、政府が2020年10月に「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、東京都では、2019年5月に世界的な都市の責務として2050年にゼロカーボンに貢献する「ゼロエミッション東京」を実現することを宣言しました。

狛江市でも、気候変動対策を強く推進するため、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロに取り組む「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言しています。



キーワードは1.5℃

気候変動による気温上昇の程度と影響については、国際的に研究が進められています。

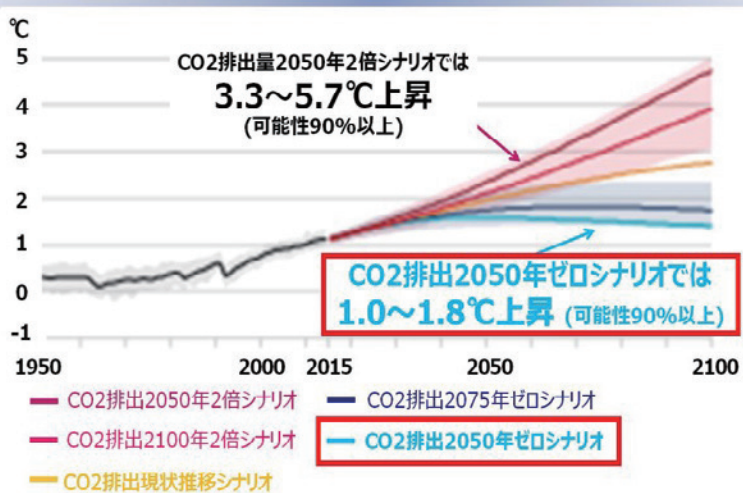
気候変動に関する国際的な研究組織であるIPCC(気候変動に関する政府間パネル)が2018年に公表した「1.5℃特別報告書」では、「地球温暖化による気温の上昇が工業化以前から1.5℃に抑えられるか、2℃になるかでは、明確な違いがある」と示され、具体的には下記に掲げるような重篤な被害を引き起こす可能性があると予測されています。

そのため、これらの被害を極力抑えるために、気温上昇を1.5℃に抑えることが重要であることが強調されています。



- 「1.5℃特別報告書」では、気温が2℃上昇した場合、次のような事態が予測されています。
- ・中緯度域の極端に暑い日が約4℃昇温する
 - ・1976～2005年を基準として、洪水による影響を受ける人口が2.7倍になる
 - ・サンゴ礁の99%以上が消失する

世界の平均気温の変化の予測(1850年～1900年を基準とした変化)



上のグラフは、IPCCが2021年に公表した「第6次評価報告書第1作業部会報告書」で示されたグラフで、二酸化炭素の排出量に応じて、地球の平均気温がどれほど上昇するかを予測したものです。

このグラフによると、気温の上昇を1.5℃までに抑えることができる可能性があるのは、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ、つまりゼロカーボンを達成したシナリオのみとなっています。

世界各国が2050年までにゼロカーボンを目指すのは、気温上昇を1.5℃に抑え、持続的な社会を残すためなのです。

おうちの電気、なにで選んでいますか?

ご家庭の電気を「再エネ電気プラン」に切り替えることで、自宅に太陽光発電設置などを設置することなく、環境にやさしい電気を使うことができます。

市では、ご家庭の電気を再エネ電気プランに切り替え、アンケートにお答えいただいた方に先着で特製エコグッズをプレゼントする「再エネ電気切り替えキャンペーン」を実施しています!

キャンペーンは2024年3月31日まで! / **再エネ電気切り替えキャンペーン実施中!**

ご家庭の電気を「再エネ電気」に切り替え、アンケートに答えてプレゼントをもらおう!



子どもたちから大好評の「えこまさん」のぬいぐるみをアンケートに答えた方、全員にプレゼント!

狛江市環境 Mascot 「えこまさん」ぬいぐるみ 約10cm

その他、お手軽サイズのエコバックなど、選べるプレゼントもご用意しています! 詳細はチラシをご覧ください。

▲チラシはこちら

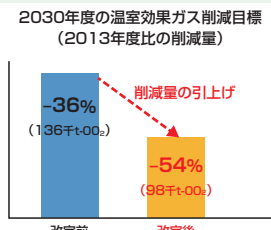
狛江市環境基本計画の地球温暖化対策(脱炭素分野)を改定しました

この度、ゼロカーボンシティの実現に向けた目標や施策を示すため、市の環境保全施策を定めた「狛江市環境基本計画」の地球温暖化対策(脱炭素分野)の改定を行いました。(2023年10月)

ゼロカーボンシティの実現には、市民、事業者の皆様のご協力が欠かせません。引き続き、ご協力よろしくお願い致します。

1. 温室効果ガス排出削減目標の引上げ

2030年度の温室効果ガス排出削減量の目標を引上げ、**2013年度比で54%の削減**としました。また併せて、再生可能エネルギー導入量を2030年度に市内エネルギー消費量の6%相当とする目標も示しています。



2. 目標達成に向けて取り組む施策

上記の目標達成に向けて取り組む施策の方向性を示しました。

- ① エネルギー効率のよいまち
 - ・建築物におけるエネルギー性能の向上や省エネ型設備の導入を加速するための支援
 - ・プラスチック廃棄物の発生抑制等に向けた4R^{*1}の啓発強化 等
- ② 再生可能エネルギー等の利用促進
 - ・建築物における太陽光発電設備等の設置促進に向けた支援
 - ・公共施設への100%再エネ電気の導入拡大
 - ・3D都市モデル^{*2}を用いた太陽光発電設備導入拡充の検討 等
- ③ 気候変動の影響への対応
 - ・熱中症の予防や処置に関する情報発信の拡充
 - ・狛江市下水道浸水被害軽減総合計画による対策の取組 等

計画は、環境政策課窓口で1,360円で頒布しているほか、市ホームページからもご覧になれます。

*1 ごみの減量に有効とされる、頭文字がRで始まる4つの行動のこと。①Refuse(断る) ②Reduce(ごみを減らす) ③Reuse(繰り返し使う) ④Recycle(再利用する)

*2 航空測量等に基づき、建物等を三次元で生成したもの。

市ホームページはこちら